



平成 30 年 5 月 10 日

各位

会 社 名 株式会社ヤマダ電機  
代 表 者 名 代表取締役社長 桑野 光正  
(コード番号 9831 東証第一部)  
問 合 せ 先 取締役兼執行役員専務 岡本 潤  
(TEL. 0570-078-181)

## 平成 30 年 3 月期 個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期個別業績につきまして、前期実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月期の通期個別業績と前期実績との差異（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前期実績（A） （平成 29 年 3 月期）	百万円 1,365,630	百万円 49,576	百万円 58,309	百万円 33,928	円 銭 42.25
当期実績（B） （平成 30 年 3 月期）	1,351,349	25,365	32,224	9,754	12.04
増減額（B－A）	△14,281	△24,210	△26,085	△24,173	
増減率（%）	△1.0	△48.8	△44.7	△71.3	

#### 2. 差異の理由

当社は、来期（平成 31 年 3 月期）に新業態店舗（家電住まいる館）への業態変更（改装）を約 100 店舗予定しており、将来に向けた在庫の入れ替え、部門間在庫バランスの適正化による仕入絶対額の大幅な減少や政策的在庫処分を戦略的に行ったことから、売上総利益へのマイナス影響が発生し、販売費及び一般管理費のコントロールは効いているものの、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前年を下回りました。

なお、連結業績につきましては、「平成 30 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご覧ください。

以上